

最近、新聞の見出しを眺めていると、太陽光ビジネスのネガティブな話題が目立ちます。電力の買い取り制限や不正業者の認定取り消し等、程度はあるにせよ、一時しのぎ行政の綻びが露呈しつつあるのでしょう。その一方で注目を浴びるホットな話題もあります。それは「水素ビジネス」です。

トヨタが燃料電池車「ミライ」を発売したことは皆さんご存知だと思います。二酸化炭素を発生しない、まさに究極のエコカーです。しかし、特筆すべきはそれを普及させる方策です。トヨタは燃料電池車に関する約5700件もの特許ライセンスを無償で提供する、と発表しています。つまり、市場を創出するためにはライバル企業とも手を組むということでしょう。さすがトヨタ、唸るしかありません。

当社も新年を迎え、新たな市場の創出を目指します。

担当 長谷川正

太陽光から水素へ



会長 長谷川 健一



小江戸通信が創刊されてから六年を迎えました。発行目的を振り返ると、毎月の紙面を通じて会社内の企業活動の一端を広報し、社員の話題や活動を発信することで弊社がどの様な会社を目指しているかを知って頂き、お客様との信頼関係をより深く築くことにありました。

果たして初期の目的がどれ程成しとげられただろうか、紙面の未熟さ浅さをじっくりと自問し自省しているところです。とは言っても発行担当者は毎号の締切りに追われながら紙面作りで大奮闘したこと、その労をねぎらいたい。「継続は力なり」とも言います。毎号の紙面を充実させる努力が目に見えないところでお客様の心を打つことを期待しながら一歩一歩明日に向かって歩んでいきます。



小江戸通信の創刊時を振り返り思う

15年の目標

例年地元の神社に初詣に行くのですが、気持ちを新たに新年スタートする為、今年も明治神宮へ行きました。そこでおみくじを引き、ある一文に「辛抱と努力」と有りました。まさにこれだ！と思いい、今年目標に決めました。

今までの私は、何をすることも楽な方に逃げる悪い傾向が有りました。営業3年目の今年は楽に逃げたのではなく、苦にもしっかりと向き合い「辛抱」しながら「努力」を惜しまず精一杯仕事に励みたいと思えます。

担当 渋谷



ツキを呼ぶ魔法のこじば



毎年読み返す本の中に、工学博士の五日市先生著「ツキを呼ぶ魔法の言葉」があります。その言葉は三つあり、嫌なことがあったら「ありがとう」、「良い事があったら「感謝します」、そしてつねに前向きに「いつか」と口に出すのだそうです。「ありがとう」を漢字にしてみますと「有難う」です。難があつた時にこそ負の鎖を断ち切る言葉になります。すべての仕事は人を幸せにする為にあると思います。何気ない毎日でも誰かの仕事のおかげで暮らせています。今年もこの三つの言葉を実践し、感謝の気持ちを持って仕事を頑張ってください。

担当 米田



お知らせ掲示板

12月20日より、弊社ホームページを刷新いたしました。スタッフブログとスタッフ紹介を拡充し、当社日常の一面を垣間見ることができるのでお勧めです。(スタッフ紹介は近日オープンします。お楽しみに。)

<http://www.e-hasegawa.co.jp/>

第74号は、2月20日発行です。

はせがわ・すぴりっと
今年度のスローガン
私が絆ぐ会社の未来

まちと現場を明るく照らす

発行: (株)長谷川製作所

TEL 049-233-1021

www.ehasegawa.co.jp